

日本経済新聞

8月24日

水曜日

ワサビで水ギョーザ

信栄食品

食べ方提案 名産品で新商品

冷凍食品製造の信栄食品（松本市、神倉藤男社長）は食品企業と連携した製品開発を強化する。

安曇野市のワサビ農園と協力し、ワサビをのせて食べる水ギョーザを来月にも発売する。今後も地域の名産品を使った製品を開発していく考え。話題性のある商品を投入し、知名度を上げ、主力の量販店向け冷凍ギョーザ

ザ卸に弾みをつける狙い。

新商品は松本市内の直営店のほか、ナムコの屋内テーマパーク「ナムコ・ナンジャタウン」（東京・豊島）内のギョーザ店などで販売する。販売価格は現在詰めている。

で、ワサビをのせて食べる。すっきりとした味わいが楽しめるという。

直営店などのほか、ネット通販や中小スーパーでも販売する。同社は直営店などを知名度を向上させるための広告塔と位置付けている。特徴のある製品を投入し、スーパーに製品開発力や技術力を宣伝する。

神倉社長は「地元企業

との連携は商品の付加価値を高める」と話している。これまで「味唐辛子

やみそを使った製品で県内企業との共同開発を進めてきた。今後もキノコ

など県内名産品に加え、他地域との連携を加速していく考えだ。